

主催者企画 先端技術セミナー

聴講
無料

■聴講方法：当日開催分の座席券を1ホール内の配布所にて午前10時より配布します。事前予約は承りません。同一セッションは一人一枚に制限します。
■場所：幕張メッセ1ホール内セミナー会場A/B ■定員：300人

12月1日(火)

会場 A	自動車 11:00～11:45	付加価値・自動車製造の未来予想図－II 金属から機能統合へ：車体構造と樹脂技術の進化 元 本田技研工業 生産技術統括部 エキスパート・エンジニア 田岡 秀樹	
	コンポジット 13:00～13:45	環境適合とコストの壁を乗り越える 熱可塑性CFRPのための製造技術 近畿大学 理工学部 機械工学科 教授 西飯 和明	
	材料 14:00～14:45	グローバル開発事例から紐解く、 バイオプラスチック社会実装の勘所 小松技術士事務所 所長・ものづくり名人 小松 道男 副所長 小松 勝男	 
	リサイクル 15:00～16:00	複合廃プラスチックの新たな出口創出 ～廃棄物に価値を与えるデザインアプローチ～ REMARE 代表取締役 間瀬 雅介 カリモク家具 取締役社長 加藤 洋	 

会場 B	材料 11:30～12:30	サステナブル材料は本当に使えるのか？ ～リサイクル・代替材料・新素材の実装最前線～ PlaBase / シーエムシー出版コラボ企画 東京大学 特別教授 / 物質・材料研究機構 フェロー 伊藤 耕三 静岡大学 農学部 特任教授 / トヨタ車体 材料技術部 主査 西村 拓也	 
	DX/IoT 13:30～14:15	“このままでは回らない” 人手不足時代の現場改革実践事例 ～失敗から学んだ、現場発のデータ活用と効果～ 内浜化成 開発部 部長 鍛冶 史朗	
	自動車 14:30～15:15	自動車用プラスチックのサーキュラーエコノミー 東京大学 特別教授 伊藤 耕三	
	リサイクル 15:30～16:15	使用済み色付きプラを新品同様に循環利用 ～複数回再利用できる新しいリサイクル技術～ 大阪公立大学 工学研究科 物質化学系生命系専攻 准教授 岡田 健司	

12月2日(水)

会場 A	環境 11:00～11:45	ライフサイクルの視点から考えるプラスチック問題 東京大学 大学院 工学系研究科 都市工学専攻 准教授 中谷 隼	
	自動車 13:00～13:45	自動車における資源循環戦略 ～豊田通商×ブランックによるCar to Car樹脂リサイクル～ ブランック 代表取締役社長 山下 晴道	
	医療 14:00～14:45	射出成形による軽くしなやかな医療プレート ～幾何設計による限界突破～ 名城大学 理工学部 准教授 仙嶋 淳彦	
	自動車 15:00～15:45	EU 使用済み自動車規則と関連業界の動向 ～再生材含有義務規制の衝撃～ 日本生産性本部 コンサルティング部 エコ・マネジメント・センター 喜多川 和典	

会場 B	成形 11:30～12:30	万博出展以降のバイオプラスチックの展望と効用 について/工業部品メーカー8社の挑戦 ～Harmonight(ハーモナイト)完成への道のり～ 西日本プラスチック製品工業協会 名誉会長(岩崎工業 代表取締役会長) 岩崎 能久 副会長・総務部長(旭化工 代表取締役社長) 吉本 徹	 
	コンポジット 13:30～14:15	植物由来FRPから見出す次世代循環型複合材の可能性 ヤマハ発動機 生産技術本部 材料技術部 第1先行開発グループ チーフ 伊藤 友貴	
	環境 14:30～15:15	エフピコモデルの資源循環型リサイクル ～「トレートトレ」・「ボルトto透明容器」～ エフピコ サステナビリティ推進室 コミュニケーション推進課 チーフマネージャー 新矢 恭三	
	材料 15:30～16:15	バイオプラスチックの国内外動向と識別表示制度 日本バイオプラスチック協会 顧問 森 浩之	

12月3日(木)

会場 A	自動車 11:00～11:45	世界最先端となった中国EVの樹脂部品への影響 ～価値の創造と法規への対応～ Tech-T 代表取締役 / 博士(工学) 高原 忠良	
	自動車 13:00～13:45	自動車樹脂部品の最新トレンドと課題 ～自動車部品の資源循環対応～ 日産自動車 テクニカルセンター 内外装技術開発部 エキスパートリーダー 小松 基	
	自動車 14:00～14:45	再生材活用促進に向けた 自工会の取組みについて 日本自動車工業会 環境技術・政策委員会 リサイクル廃棄物部会 部会長 嶋村 高士	
	包装 15:00～15:45	EU包装・包装廃棄物規則(PPWR)の適用開始と 日本企業への影響 EY新日本有限責任監査法人 CCaSS事業部 シニアマネージャー 井出 陽一郎	

会場 B	自動車 11:30～12:15	資源循環時代の複合材技術研究 ～欧米のCFRPその後と樹脂リサイクルの発想感～ 名古屋大学ナショナルコンポジットセンター 特任教授 漆山 雄太 Cannon S.p.A. Overseas Operations / Composite R&D / Automotive Div. Corporate Manager 名古屋大学 ナショナルコンポジットセンター 客員准教授 外山 寿	 
	コンポジット 13:30～14:15	現場の課題を解決!生産性を向上させる CFRP導入のポイント 共和製作所 業務管理部 工場長 兼 営業部 営業部長 大宮 勝美	
	金型 14:30～15:15	成形現象の最小核としての金型研究と今後の展開 岐阜大学 地域連携スマート金型技術研究センター 准教授 新川 真人	
	ビジネス 15:30～16:15	インド進出セミナー ～政府インセンティブ活用・規制など留意事項、インド人材を活かすポイント～ Ernst & Young税理士法人 インドデスク アソシエートパートナー 山口 哲男	

12月4日(金)

会場 A	加飾 11:00～11:45	加飾技術の最新動向と今後の展開 ～環境負荷低減加飾を中心に～ MTO技術研究所 所長 梶井 捷平	
	環境 13:00～13:45	日本初の再生プラスチックに関する新基準 「SPC認証プログラム」の可能性と展望 サステナブル経営推進機構 SX戦略事業部 統括室・事業開発室 室長代理 / 副主任研究員 戸田 寛明	
	成形 14:00～14:45	選ばれる素材、語りかける製品 ～感性価値が問われる時代のものづくり戦略～ 明星大学 経営学部経営学科 准教授 唐見 麻由香	
	環境 15:00～15:45	「廃プラ処理」から「資源プラ製造」へのパラダイムシフト ～事業として長く続けるための「深いリサイクル」という処方箋～ 資源プラ協会 代表理事 犬飼 健太郎	

会場 B	自動車 11:30～12:15	自動車車体へのCFRP適用 トヨタ自動車 先進プロダクト開発部 チーフプロフェッショナルエンジニア 三国 敦	
	DX/IoT 14:30～15:15	不良低減の答えは計測値の中にあった ～動作計測データで不良低減・良品条件を確立～ コジマプラスチック 部品樹脂事業部 生産技術部 部長 仲田 義敏	
	材料 15:30～16:15	セルロース繊維とプラスチックの複合材料に おける特徴と適用事例 王子ホールディングス イノベーション推進本部 機能材開発センター 上級研究員 小柳 淳	